

構築について

Webサイトを構築するために必要な事前知識

リセットCSS

これまでの課題などでは、Webサイトを構築するためにブラウザの共通設定として下記のコードを記述してきました。

CSS

```
*{
    margin: 0;
    padding: 0;
}
```

リセットCSSの考え方

上記コード例では、ブラウザ毎に設定された標準の余白などを統一し、足並みを揃えた上でスタイルを設定していくために、全称セレクタを利用して余白のリセットを行いました。

しかし、特定の要素など余白が必要なものでクリアになるため上記コードはあまりふさわしくありません。そこで、ブラウザの固有スタイルを統一し、制作者側の開発のしやすさをリセットCSSとしていくつかの標準設定を行ったものが用意されています。

リセットCSSでよく使われるものは、Yahooが提供するYahooUIのResetCSSや HTML5 DoctorのResetCSSなどが代表的です。リセットCSSの考え方は全てのブラウザをフラットに設定し、スタイルを全て統一し一貫性を持たせます。その反面、スタイルに沢山の継承がおきる可能性があります。

メジャーなリセットCSS

YUI Reset CSS

<https://yuilibrary.com/yui/docs/cssreset/>

Yahoo UI (YUI)が提供するReset CSS

HTML5 Doctor Reset CSS

<http://html5doctor.com/html-5-reset-stylesheet/>

HTML5 Doctorが提供するReset CSS

ノーマライズCSSの考え方

Normalize（ノーマライズ・標準）CSSという考え方は、リセットCSSの様に一度全てのスタイルを上書きするのではなく、本来ブラウザが持つ標準のスタイルをベースにスタイルを設定していく考え方です。不要なスタイルに関しては削除することも可能なので、柔軟にスタイルを組むことが可能です。デフォルトのスタイルを使いながら補完的にスタイルを記述していくので、デフォルトのスタイルを把握しておく必要があります。

メジャーなリセットCSS

normalize CSS

<http://necolas.github.io/normalize.css/>

ress.css

<https://github.com/filipelinhares/ress/blob/master/ress.css>

normalize.cssを今のブラウザ向けにカスタマイズしたもの

リセットかノーマライズか

サイトの規模感や対象ブラウザ、デザインの再現性などでどちらを使うかは分かります。なので、どちらが良いということよりもどちらを使うべきか判断する必要があるということがポイントです。それぞれ両方を実際に使用し、どう違うかを把握しておくの良いでしょう。

@ルール

@ルールとは、@- ではじまるCSSでの記述方法です。いくつかの書き方があり、それぞれに書き方が異なります。

CSSファイルの文字コードを定義する

@charset charset;

@charsetはスタイルシート(CSS)上で扱う文字コードを定義します。ファイルの冒頭に1度だけ指定すれば構いません。日本語のフォント名などの文字化けを防ぐためにも記述を忘れないようにしましょう。

CSS - 冒頭に必ず書く

```
@charset "UTF-8" ;
```

@ルールは他にもあるので、他の項目はそれぞれ必要がある際に説明します。

WebFont

スマートフォンやPCなど、様々な環境でも一定した書体を指定できるWebFont。メリット・デメリットなどを理解しておきましょう。

Webフォントの使い方

CSS3から新たにfont-faceというプロパティが用意されました。font-faceプロパティは、制作者の意図に合わせた書体に描画出来るようにWeb上に配置されたフォントデータを指定するためのものです。

Webフォントを指定するためには、@ルールを用いられます。

フォントデータはWeb上（制作者がサーバーへアップロード）にあるため、ユーザーのコンピュータやスマートフォンにフォントデータが無い場合でも表示することが可能です。

@font-face

```
@font-face{
    font-family: "ECC COMP Bold" ;
    src: url(" http://xxxx.ecc.ac.jp/files/xxx.ttf" );
}

h1{ font-family: "ECC COMP Bold" , sans-serif;
```

Webフォントの注意すべき点

サーバー上にフォントデータを配置し使用していく為、果たしてそのフォントデータは著作権的に問題ないかどうかを確認する必要があります。不特定多数へフォントデータを配布することになりますので、十分注意が必要です。使用の可否が不明な場合は、使用を避ける方が良いでしょう。

Webフォントのサービス

日本語や英語のWebフォントを使えるサービスも存在します。英語と違い日本語の場合は、フォントのデータ量が多くなる為、無料で使えるものは少ないですが、今後はどのデバイスでも様々なフォントで表示されることを考えると、前向きに使用を検討するのが望ましいと考えます。

無料で使えるWebフォントサービス

Google Fonts

<https://fonts.google.com/>

Google Fonts + 日本語

<https://googlefonts.github.io/japanese/>

モリサワフォント契約者は無料で使えるサービス

TypeSquare

<http://typesquare.com/ja/>

もちろん良い所ばかりではない

先程記述した著作権の問題もありますが、フォントデータを各デバイスにダウンロードすることになるので、既存のPCやスマートフォンに標準で入っているフォントを使用の方が描画速度は早くなります。スマートフォンの場合では、回線が混雑時、低速通信時では読み込みが遅くなりユーザーにストレスを与える原因になるかもしれません。Webフォントはまだまだ始まったばかりですので、より使いやすい仕様やストレス無く使える様期待しましょう。